

# 滋賀の祭礼「宇佐八幡宮例祭（夜まつり）」

解説：宇佐山会

## 1. 宇佐八幡宮について

錦織郷に居を構えた源頼義が、八幡宮を創建する場所を探していたところ、神鳩が現れ、建立の地に誘導したため、治暦元年（1065年）この地に九州宇佐神宮を祀り産土神として「宇佐八幡宮」を建立しました。

「宇佐八幡宮」は、近江神宮よいかのもり保育園付近に下拝殿（しもはいでん）と鳥居（とりい）があり、急斜面を上ると宇佐山の中腹に、上拝殿（かみはいでん）と本殿（ほんでん）があります。「むしはちまん」とも称され、地域の氏神（うじがみ）さまとして、子どもの守り神として信仰を集めています。

本殿の両脇には、小さな土鳩の人形がズラリと奉納されており、この土鳩は古くは神へのお礼の念を込めて奉納したと伝わっていますが、今では子どもの成長を祈願する存在に変わり、土鳩の胴体には子どもの名前や年齢、祈願などが書かれています。

秋には「夜まつり」という名のお祭りが行われます。松明（たいまつ）の明かりをたよりに、2基の神輿（みこし）が威勢よく上拝殿から下拝殿まで、暗い急な坂道を下っていくさまは実に壮観です。また、これに奉仕したり、お供をすることで厄が除られると伝えられています。

平成26年（2014年）には、創建950年祭が催されました



本殿（ほんでん）、上拝殿（かみはいでん）



下拝殿（しもはいでん）



錦織公会所（にしこおりこうかいしょ）



二本松御旅所（にほんまつおたびしょ）

2. 「夜まつり」前日までの準備等（令和元年の日程）

8月25日(日) 8:00~11:00	【松明造り（たいまつづくり）】上拝殿で、役員・氏子（各自治会から数名ずつ）がのこぎり、なた、ペンチを持参し、青竹の先端を細かく割り、伐採した松から薪を作り詰め、針金と藁縄で留めていく。
9月7日(土) 8:00~10:00	【注連縄張り（しめなわはり）】本殿各社・上拝殿・下拝殿・鳥居・錦織公会所・二本松御旅所などの注連縄を張り替える。錦織公会所に保管されている大幟用の竹を、各自治会に配る。
9月8日(日) 8:00~12:00	【幟立て（のぼりたて）】各自治会は町内に大幟を立てる。
9月8日(日) 13:00~15:00	【道造り（みちづくり）】下拝殿に、氏子（各自治会から数名ずつ）が集まり、上拝殿までの参道の補修作業（スコップで土を取り除き、鎌で除草等）を行う。
9月5~12日 19:00~21:00	錦織公会所で、子ども達がお祭り太鼓の練習を行う。
9月13日(金) 午前~	錦織公会所で、祭りの諸準備を開始する。
9月13日(金) 12:00~14:00	【粽造り（ちまきづくり）】餅子を練ったものを小さく丸めて、笹の葉で包む。粽は、「湯神楽（ゆかぐら）」「夜祭の神事」の御供えにされる。
9月13日(金) 14:30~15:30	【練酒造り（ねりざけづくり）】木樽に練酒を仕込み、翌日まで一晩、毛布や座布団で包み、保温した状態で発酵させる。
9月13日(金) 16:00~16:30	【湯神楽（ゆかぐら）】錦織公会所で、稚児・役員・氏子等が、宮司と巫女が行う「湯神楽清祓（ゆかぐらきよはらい）」に参列する。 竹・笹・御供え（大根、栗、魚干物等）を準備する。
9月13日(金) 16:30~17:00	錦織公会所で、稚児が神事作法の練習を行い、稚児衣装を受け取る。
9月13日(金) 20:00~21:00	【鉾立て（ほこたて）】【肩組（かたくみ）】錦織公会所で、宇佐山会及び氏子有志により、鉾立て（鉾を作り飾り立てる）及び肩組（神輿を担ぐ位置を決める）を行う。



湯神楽（ゆかぐら）

3. 「夜まつり」当日の行事等（令和元年の日程、例年9月中旬頃の土曜日）

9月14日(土) 8:00~15:00	錦織公会所で、「御供え（餅、ごはん、ずいき等）」「高張提灯（たかはりちょうちん）」等の準備を行う。	
9月14日(土) 10:00~12:00	【練酒造り（ねりざけつくり）】一晩発酵させたものを、木樽から柄杓でミキサーに入れて米粒をすりつぶす。練酒は、夜祭の神事において御供えされる。また、「夜まつり」の間、社務所の前に置かれ、ふるまわれる。	
9月14日(土) 18:00~19:00	【夜祭り（宮司・稚児・氏子）】 錦織公会所に集合し、諸準備を行う。	【夜祭り（宇佐山会、神輿かき）】 二本松御旅所に集合し、伊勢音頭を歌いながら錦織公会所へ。
19:00~20:00	下拝殿前を通り本殿へ巡行。	下拝殿前を通り本殿へ。
20:00~21:00	稚児、氏子代表は本殿内で神事。 その他の者は上拝殿周辺で待機。	上拝殿周辺で松明の準備を行い待機。
21:00~22:00	上拝殿から下拝殿へ巡行。	上拝殿から下拝殿まで神輿渡行。 ※独特の掛け声「ホイット、ホイット」
22:00~22:15	下拝殿で稚児が神事を行い、祭典委員長の挨拶をもって終わる。	

4. 「夜まつり」翌日の行事（令和元年の日程）

9月15日(日) 6:00~6:30	【卯之刻祭（うのこくさい）】下拝殿に、宮司・氏子総代・祭典委員長・氏子・宇佐山会が集まり、神輿に古式御供を奉る。
9月15日(日) 10:00~11:00	【子ども神輿巡行（みこしじゅんこう）】 各町内で、子ども神輿巡行。
9月15日(日) 14:00~17:00	【神輿巡行（みこしじゅんこう）】 下拝殿～錦織公会所～二本松御旅所まで「神輿渡御」 二本松御旅所で、神輿からお菓子を投げて神輿渡御は終わる。



卯之刻祭（うのこくさい）



巡行（お稚児さん、宮司、祭典委員等）



御神輿（おみこし）



御神輿（おみこし）

## 5. その他

宇佐山（標高336m、麓の標高は約110m）の中腹に鎮座する「宇佐八幡宮」から、登山道を頂上まで登ると「宇佐山城跡」があります。

宇佐山城は、織田信長が森可成に命じて、元亀元年（1570年）に建てられたお城で、2代目城主は2020年NHK大河ドラマ主人公の明智光秀です。光秀は坂本に築城を命じられ当城は廃城となりました。信長による安土城以前に最初に石垣を備えた城として貴重であり、その石垣が本丸跡に現存しています。

また、三の丸跡は「宇佐山テラス」と呼ばれ、琵琶湖と湖西地域が一望できる展望台となっています。

**【注意】** 登山道は狭い急斜面が続くため、トレッキングシューズや滑りにくいスニーカー等で登ってください。